

議会だより

■発行：佐渡市議会 ■責任者：梅澤雅廣 ■編集：議会報編集特別委員会
〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地 ☎ (0259) 57-8133



年越し雪中みこし

12月定例会

- ★平成19年第5回佐渡市定例会 2p
- ★人事案件・請願・その他… 3p
- ★一般質問・緊急質問… 4～12p
- ★常任委員会活動報告… 13～15p
- ★特別委員会活動報告… 16～17p
- ★平成19年9月定例会常任委員会の要望・意見に対する処理状況
議会のうごき・
行政視察来市状況・編集後記18p

平成19年

第5回佐渡市定例会

12月定例会が12月7日～26日の20日間の会期で開催されました。

一般質問には16人の議員、緊急質問では1人の議員が登壇し、市政をただしました。

予算では、歳入歳出を2億1462万円減額し、総額458億8784万8000円とする一般会計補正予算案など17議案を可決。請願7件のうち、2件を不採択、5件を継続審査とし、陳情1件を採択、意見書2件を可決しました。

また、平成18年度一般会計決算及び各特別会計決算、病院事業会計決算及び水道事業会計決算など3件を認定したほか、人権擁護委員候補者の推薦に同意し閉会しました。

主な議題

- ◆佐渡市堀口基金条例の制定について
- ◆佐渡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆公の施設に係る指定管理者の指定（ワイドブルーあいかわ、ビューさわた、佐和田大佐渡交流活性化センター、新穂潟上温泉、畑野松泉閣、畑野農村休憩施設、佐渡海洋深層水分水施設）
- ◆平成19年度佐渡市一般会計補正予算（第4号）について

人事案件・請願・その他

◆人権擁護委員候補者の推薦について

舟崎 清一郎（真野地区）

採択された陳情

◆保険でよい歯科医療の実現を求め意見書採択を求める陳情

可決された意見書

◆道路特定財源の見直しに関する意見書

◆保険でよい歯科医療を求める意見書

継続審査となった請願

◆米価の安定対策を求める請願

◆後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願

◆新テロ特措法案を撤回し、アフガニスタンへの民生支援の強化を求める請願

◆適正規模の少人数学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願

◆飼料価格の高騰による農家負担の軽減と、国産飼料の増産、循環型畜産の発展を図る施策を求める請願

不採択となった請願

◆平成20年度政府予算において、消費税の税率引き上げをおこなわないことをもとめる請願

◆「保育園、幼稚園、小中学校における集団フツ素洗口事業」の実施延期とインフォームドコンセントを求める請願

道路特定財源の見直しに関する意見書

道路は、住民の生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会資本であり、少子・高齢化が進展する中（過疎化が進展する中）、地域の自立・競争力の強化を図るためには、地方が必要とする道路の整備を計画的かつ迅速に進める必要がある。

現在、国においては、行財政改革の一環として道路財源の余剰分を一般財源化することとして議論しているが、受益者負担を原則とする道路特定財源制度の基本理念に基づき、真に必要な道路の整備に用途を限定し整備を推進すべきである。

本市では、点在する集落を連絡する主要地方道が未改良であり、道路防災上危険箇所が多く、災害時に対応する迂回路の確保も困難な状況にある。島内の交通体系は自動車への依存度が高く、とりわけ中央に位置する総合病院までの幹線道路の早期整備は、救急医療の面からも地域住民の切なる願いである。また、市の中心部を繋ぐ国道350号の慢性的な交通渋滞などの課題を抱えており、「安全で安心な地域を支える道路」にはほど遠い状況である。

よって、国会、政府においては、左記の事項について特段の配慮がなされるよう強く要請する。

記

1. 道路特定財源の地方への配分割合を高めること等により、地方における道路整備財源の充実に努めること。
2. 道路特定財源の暫定税率を延長し、道路整備に必要な財源を確保すること。
3. 受益者負担の趣旨にそぐわない一般財源化や転用をすることなく、すべて道路整備を強力に推進するために充てること。
4. 国道指定を受けている離島航路には、国道整備予算として道路財源を投入すること。



一般質問



ココが聞きたい!!

- 4 大澤 祐治郎 議員……………高野市政の総括をする
- 5 渡邊 庚二 議員……………佐渡総合病院の新築を促進せよ
- 5 小田 純一 議員……………文化・体育施設は直営に指定管理者制度の見直しを
- 6 村川 四郎 議員……………消防と医療から
- 6 田中 文夫 議員……………出馬宣言を受けて
- 7 金光 英晴 議員……………農業振興について
- 7 本間 千佳子 議員……………妊婦健診から始まる子育て支援を
- 8 廣瀬 擁 議員……………佐渡市の学力は大丈夫か
- 8 中川 隆一 議員……………指定管理者制度について
- 9 加賀 博昭 議員……………副市長を本部長でアルコール米事業推進
- 9 祝 優雄 議員……………石油製品の価格対策
- 10 木村 悟 議員……………スポーツ・文化合宿誘致で佐渡観光活性化へ
- 10 小杉 邦男 議員……………屋上屋を重ねる部長制度は廃止すべき
- 11 中村 良夫 議員……………後期高齢者医療制度は中止・撤回を求めるべきだ
- 11 大石 惣一郎 議員……………「トキと共に生きる」覚悟はあるか
- 12 近藤 和義 議員……………アイマーク株に指定管理の取り消しを命ずるべき
- 12 近藤 和義 議員……………情報公開条例における文書扱いと指定管理者への対応策は

一般質問

高野市政の総括をする



大澤 祐治郎 議員

〔質問〕 市長は常々国に甘い蜜にだまされて合併したと、自らの責任を回避した無責任が4年間続いたが、やはり合併は佐渡市に何の成功も運んで来なかった。9月の県会で知事は中越出身の県議に合併総括を聞かれ、「合併は県下の自治体の行政能力をいたずらに衰退させただけ」と発言して、物議を醸し出した。難しい危険極まりない選択であった。合併をおおった高野市政は、市民の期待に何をこたえ成果があったのか。公約は守ったのか総括する。

〔市長〕 国の財政計画に振り回され、また議会の財政計画の修正もあり、財源不足と合わせて事業計画の進捗は道半ばで決定打が出せなかった。

〔質問〕 人口減の歯止め対策なくして税収増対策は目途

〔質問〕 市長の常々国に甘い蜜にだまされて合併したと、自らの責任を回避した無責任が4年間続いたが、やはり合併は佐渡市に何の成功も運んで来なかった。9月の県会で知事は中越出身の県議に合併総括を聞かれ、「合併は県下の自治体の行政能力をいたずらに衰退させただけ」と発言して、物議を醸し出した。難しい危険極まりない選択であった。合併をおおった高野市政は、市民の期待に何をこたえ成果があったのか。公約は守ったのか総括する。

〔市長〕 国の財政計画に振り回され、また議会の財政計画の修正もあり、財源不足と合わせて事業計画の進捗は道半ばで決定打が出せなかった。

〔質問〕 人口減の歯止め対策なくして税収増対策は目途

〔市長〕 人口に対する妙案はなかった。法改正により19年は一時微増だったが、20年はまた減になる。

〔質問〕 税収の大きな柱は基幹産業の観光だと考えるが、対策上妙案はあったか。

〔市長〕 中越地震の風評被害もあって、観光客の入込み対策が打てず手詰まり状況で、今年も残念ながら減員になる。

〔質問〕 何の対策も打たず手詰まりであるという神経が分らない。観光の足となる空港整備、佐渡汽船対策は見通しがついたのか。

〔市長〕 知事の考え方が変わり、少しずつであるが進展の兆しが出てきている。佐渡汽船は小木航路減便と財源負担が難しく、結論が出せない。

〔質問〕 庁内の機構改革はどうなっているのか。特に副市長制、部長制は権限が2階建てになっている。見直しをすべきでないか。

〔市長〕 制度発足以来、ようやく2年経って機能の兆しが見えるので、現状維持で行きたい。

〔質問〕 市長のファミリー企業と後援企業の便宜しか事業の進展はなく、公約はどうなっているのか。

〔市長〕 再三の見直しと議会への修正を受けて公約どおりには行かないが、頑張りた

〔質問〕 過疎地の道路整備について、特に赤玉線は河川改修によって対応できるかどうか。

〔建設部長〕 以前から大澤議員に強く要望されていたが、地域振興局では河川改修で拡幅を検討している。